



第465号

**公益社団法人
徳島県環境技術センター**

徳島市津田海岸町2-33
電話 (088) 636-1234(代)
FAX (088) 636-1122
発行責任者 吉村 正
編集者 原岡 艶 甲

発行

新年のご挨拶



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様におかれましても、健やかに新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

また、平素より、法定検査をはじめ、当センターの事業運営にご理解、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年5月に会長にご推挙をいただき、はや半年あまりがすぎました。就任当初は私の想像していた以上に多くの行事があり、戸惑いもありました。改めてセンターの広範な事業活動に驚いております。しかしながら、私に限らず多くの会員の皆様にとりましても、センターが「何を目的に、どのような事業を行っているか」については、ほぼ関わりがないと思われるのが実情ではないでしょうか。行事をこなしているうちに、県民のため、業界発展のために実施している事業とその目的達成のために日々努力している職員の姿を是非会員の皆様にご理解していただくべきではないかと考えるようになりました。センターの活動内容をきちんとお伝えし、そして、会員の皆様と職員とが一体となって共に活動する環境を整えることが私が会長として最優先で取り組むべき課題であると捉えております。

そのためには①各業界ごとに部会を開催する。②あるいは地域ごとにお集まりいただき話し合いを行う。③幹部職員、検査員が各会員企業を訪問し、意見交換を行う。など、相互理解のためのコミュニケーション(情報発信)の場を増やすことが重要であると考えます。

近江商人の心得に「三方よし」という言葉があります。これは「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」で、売り手買い手が共に満足し、そして社会にも還元できるのがよい商売であるということです。売り手である製造・施工・保守点検・清掃の各業者が満足し、買い手である設置者が下水道同様、一定の負担で無理なく設置、維持管理ができ、永年にわたり安心して使用できるようにする。ひいては水環境保全を通じて社会に貢献することができる。これこそが浄化槽の「三方よし」ではないかと思えます。これこそが検査機関を含め公益(業界)団体の理想形だと考えます。このこ

とは県民のみならず、我々業界、もちろんセンターの職員にも必ずやよい結果をもたらすものと確信しております。

「三方よし」の実現には製造・施工・保守点検・清掃の各業界での連携、意志統一は不可欠です。また地域会員同士の連携、協力体制の構築も同様に欠かせません。その端緒として各業種別の部会や地域連絡会での協議と活動が有効であると考えております。会員の皆様には今後各種会議への出席をお願いする場面も多くなるとは思いますが、何卒その趣旨をおくみとりいただき貴重なご意見を賜りたいと存じます。

結びとなりますが、会員の皆様の益々のご繁栄を心より祈念するとともに、業界発展と県民の利益をさらなる高い次元で成し遂げるため、尚一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成31年 元旦

会長 吉村 正

CO₂ 排出抑制対策事業費等補助金

交付申請受付終了

(一社)全国浄化槽団体連合会は、平成30年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(省エネ型中・大型浄化槽システム導入推進事業)の交付申請の受付を、平成30年10月31日をもって終了した。

全浄連が10月31日までの申請実績を仮集計した結果は、受付数合計433件、補助金申請額約663,440,000円を受け付けた。(※審査中案件があるため件数及び金額については変動する可能性有り)

尚、当センターが受付した、徳島県関係の事業件数は、10月31日までに10件(すべて交付決定済み)、事業総額は17,463,940円(内補助申請額8,729,000円)の申請を受け付けた。

内訳は住宅関係6件、医療関係2件、娯楽関係1件、事務所関係1件であった。



平成30年度 「浄化槽の日」ポスターコンクール 優秀者6名に表彰状を授与

平成30年11月27日(火)午後3時30分より、徳島県庁3階知事第二応接室において、平成30年度「浄化槽の日」ポスターコンクールの表彰式が執り行われた。

昨年と同様、県水・環境課が募集した「わたしたちの生活を守る支える下水道」標語コンクールの受賞者表彰式も併せて執り行われ、表彰式には、飯泉知事・美馬教育委員会教育長・吉村環境技術センター会長及び最優秀賞を受賞された佐々木銀河さん(高越小学校6年)、山岡泰良さん(三加茂中学校2年)のほか、優秀賞を受賞された6名(内1名欠席)及び付き添いの保護者など多数の方々が出席した。

飯泉知事が一人一人に賞状を授与し、最後に受賞者の皆さんと主催者の飯泉知事・美馬教育長・吉村会長と一緒に記念写真を撮り表彰式を終えた。

優秀作品については、平成30年度「浄化槽の日」ポスターコンクール優秀作品2019カレンダーとして、コンクール参加校、及び表彰者全員へと配布を行っている。また、12月3日(月)より東部保健福祉局(徳島保健所)1階ロビーで一般に公開展示されており、今後も広く啓発活動に用いられることとなる。



平成30年度 管理士試験合格発表 合格率19.3%で5.5%ダウン

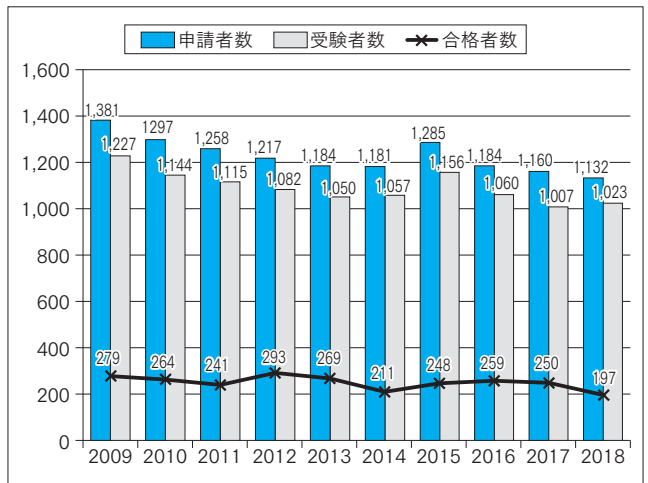
(公財)日本環境整備教育センターは、12月12日、平成30年10月28日に全国5会場(宮城県・東京都・愛知県・大阪府・福岡県)で実施された浄化槽管理士試験の結果を発表した。

それによると、受験申請者は1,132名(前年度1,160名)、そのうち1,023名(同1,007名)が受験した。合格者数は197名(同250名)で合格率は19.3%(同24.8%)で昨年度に比べ合格率は5.5%ダウン(53名減少)した。尚、合格基準点は総合得点64点以上。

会場別の合格者数は次のとおり

宮城会場	16名(前年度15名) + 1名
東京会場	71名(同85名) △14名
愛知会場	46名(同58名) △12名
大阪会場	42名(同59名) △17名
福岡会場	22名(同33名) △11名
計	197名(同250名) △53名

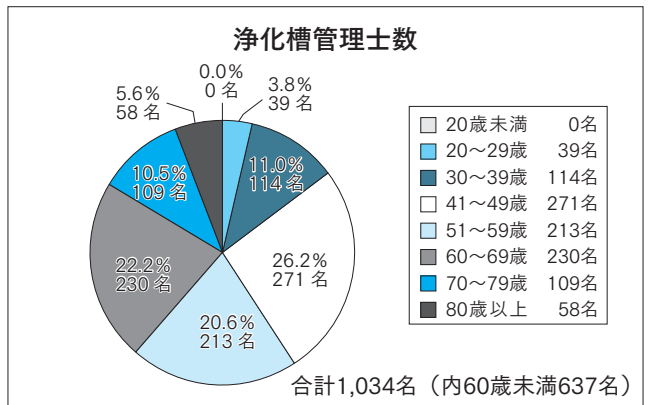
管理士試験結果の推移(過去10年間)



<参考>

徳島県内浄化槽管理士数

(H30年3月末現在)



謹賀新年

昨年中はいろいろお世話になりました
本年もどうぞよろしく願い申し上げます
平成31年 元旦

監事	理事	専務理事	副会長	会長
志摩 長	李保 石村	久積 日下	真貝 森	田村 井内
田村 井内	田原 川入	高橋 吉村	一正	
恭 孝	恭 純	修 貴	浩 玄	徳 茂
臣 夫	章 洋	博 次	司 博	人 幸

業界4部会を開催

全員参加で業界の発展を目指す

県環境技術センターは、平成30年10月に会員を対象とした部会別（メーカー、施工、保守点検、清掃）の会議を開催した。

昨年度までは委員会（施工、保守点検・清掃、環境広報）として事業活動の企画や各業界の課題・解決などの協議を行ってきたが、今年度からはこの委員会を休止し、会員一人一人が参加し発言できる会議の場として、全員参加型の部会別会議を開催することとなった。

部会別会議には、会員事業所の代表者や実務に取組む担当者等が参加し、業界で直面している課題や要望のほか、将来を見据えた業界のあり方や後継者の確保など、様々な意見が出され、活発な議論が行われた。

今後は、より多くの会員が参加できるよう開催場所（地域）に配慮する等、地域によって異なる現場の実態に耳を傾け、業界が抱える問題の解決に向けた方策について協議していきたい。

各部会の開催結果は以下のとおりである。

【施工部会（10月16日）】出席会員16名

<協議した内容>

- 市町村設置型浄化槽推進の取り組みについて
- 地域単位（旧支部）での活動について
- 適正な施工について
- 資格取得の支援や業界の活性化について 等



【保守点検部会（10月19日）】出席会員9名

<協議した内容>

- 市町村設置型浄化槽推進の取り組みについて
- 地域単位（旧支所）での活動について
- 後継者対策について 等



【清掃部会（10月22日）】出席会員10名

<協議した内容>

- 清掃部会からの県への要望について
- 浄化槽維持管理標準契約の取扱いについて 等



【メーカー部会（10月26日）】出席会員7名

<協議した内容>

- 合併浄化槽への転換推進について
- 適正な施工の確保について
- 浄化槽維持管理標準契約について 等



職員対象に 普通救命講習開催

救急車が来るまでの応急手当を修得

環境技術センターは11月20日（火）、職員50名を対象に、「普通救命講習」を開催した。

この講習は応急手当の基礎知識を学ぶことを目的に開催したもので、講師に徳島市

消防局の津島消防指令補を招き、前半はビデオによる救命処置の解説と、最新の応急手当についての座学を勉強した。座学では、特にやけどや止血法について最新技術を学ぶことができた。また、特に検査員は業務遂行上、夏場の炎天下での作業で熱中症になる危険性が高く、その場合の応急手当は業務に直接結びつくものであり、参加した職員は皆熱心に受講していた。

後半からは、人形を使って胸骨圧迫とAEDの使い方の体験を全員が行い、いざというときにも対応できるように実践研修を行った。

心臓が止まったとき、人の治療はまさに1分1秒を争うため、救急車が来るまでの間、救命措置をすることは大変重要であることを学んだ。

講習終了後には徳島市消防局から受講者全員に修了書が発行された。

今後も救命技能を忘れることなく維持向上させるため、定期的に開催していきたい。



四国地区検査機関対抗ソフトボール大会開催

第11回 優勝は愛媛県

平成30年11月3日(土)、さわやかな秋空の下、吉野川河畔ふれあい広場(美馬市 四国三郎の郷 グラウンド)において、第11回浄化槽法指定検査機関四国地区協議会親睦事業ソフトボール大会が開催された。今年も四県合わせて参加者100名を超える大会となった。

開会式では、前年度優勝の香川県チームが優勝杯を返還した後、徳島県チームの鬼田選手による選手宣誓が行われた。『スポーツマンシップにのっとり他県に付度しないよう…。』優勝杯奪還に燃える意気込みを感じさせる素晴らしい宣誓であった。

今回は初の試みで、第一試合表裏に各県の会長による、'始球式'ならぬ'始打式'が行われた。初戦の高知戦一回裏の始打式、我ら徳島県チームの吉村会長の打球は快音を残し、見事左中間を破った。続いての攻撃も打線が繋がりに取られたら、取り返すで、得点を重ねたが豪打の高知に惜しくも敗れた。

今年の徳島県チームは、若い選手の加入により活気のあるものとなっており、新加入選手中心に動きも軽やかで元気がみなぎっている。またベテラン勢も健在で、いい味出しており、ここ一番ではやはり頼りになる存在であることを再認識した試合であった。

二戦目 昨年優勝の香川戦では、終盤追いついたが、序盤の失点が響き、あと一步のところまで逆転負けとなった。

三戦目 愛媛戦、接戦の末惜敗。悔しがる徳島チームを尻目に目の前では、愛媛チームの「歓喜の胴上げ」が繰り広げられ、寺井会長が軽やかに(^_^;)宙を舞った。

総合成績は、3勝の愛媛県が優勝。準優勝 香川県 3位 高知県 4位 徳島県

今年も4県の女性陣、子供たちの応援で大会が大いに盛り上がり幕を閉じた。

午後から、「油屋」に移動して懇親会が行われた。

吉村会長より、おもてなしが十分にできた大会でありましたと総評があり、来年度開催予定の香川県山条会長より、試合は所用で参加できなかったが、寺井会長の溢れる笑顔を見た瞬間、結果は一目瞭然であった。来年さらに盛り上げたいとお言葉を頂き、散会した。

徳島チーム監督 阿部 秀男



サイエンスフェア2018 開催 おもしろ博士の実験室開講

11月3日(土)・4日(日)の2日間、あすたむらんど徳島において、「サイエンスフェア2018」が開催された。

当センターも、例年どおり、「おもしろ博士の実験室」にみずすまし隊がエコ工作のブースを出展した。

「お菓子のパッケージが大変身～レジンで指輪を作ろう～」と題し、レジン液で指輪を作る企画である。マールチョコのパッケージを型に利用し、リング部分には業務用キーリングの二重リングを使うなど、身近にあるものを採用している。

2日間で400人程度の来場者があり、ブースは絶えず賑わい、一日中満席であった。

子供たちの作品は、思い思いの飾り付けを施し、とても個性あふれるものに仕上がっていた。

親子でペアの指輪を作ったり、友達どうして色違いを作ったり、エコ工作でもお気に入りの一品に仕上げていた。

この体験を通じて、エコ活動を難しいものと捉えず、気軽に生活に取り入れる機会として取り組んでほしい。当センターでは、様々な啓発活動を実施しているが、今後も将来を担う子ども達に、このように気軽にエコに取り組んでもらいながら、イベント活動を通じて、徳島県の実環境保全活動に取り組んでいきたい。



事務局だより

法定検査のお知らせ

次の日程で法定検査を実施します。



○11条検査

日程：平成31年1月17日～平成31年2月8日
地区：鳴門市・小松島市・松茂町・板野町・勝浦町・上勝町・美波町・牟岐町・海陽町

○7条検査

日程：平成31年1月15日～平成31年2月8日
地区：徳島市・阿南市・吉野川市・阿波市・那賀町

○那賀町検査(らくらくあんしん協議会)

日程：平成31年1月15日～平成31年2月8日
地区：那賀町全域

○神山町検査(神山町きれいな水づくり協議会)

日程：平成31年1月15日～平成31年2月8日
地区：神山町全域

